日本福祉大学付属高等学校同窓会会報
第15号
2012年2月吉日

たちばな

ご　挨　拶

会　長　　丹　羽　典　彦

同窓会員の皆様におかれましては、各界・各地でご活躍のこととお喜び申し上げますとともに、本会活動にご理解とご協力を賜り御礼申し上げます。

皆様もご案内のとおり、私どもの母校は、昭和33年に開校以来50数余年、この間、校地の移転などありましたが、今日では美浜町にしっかり根付き、卒業生も12,900名を超え、後輩の在学生たちも勉学に、各種クラブ活動に頑張っており、先輩の一人としても誇りに思っております。

こうした中で、私ども同窓会は会員相互の親睦と母校の発展に寄与するため、各卒業年度の幹事さんを中心とする同期会やクラス会活動を推奨・支援するとともに、会報の発行やホームページの運用に努めております。

また、2007年度からは、財政基盤の確立を目指して、卒業生の皆さんに年額1,000円の会費の納入制度を導入するとともに、先に述べました同期会等に開催に際しての支援策を実施させていただいておりますので、ぜひ活用いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、経済の低迷等による家計の圧迫や公立高校の授業料無償化もあり、私学への進学が大変厳しい状況です。これらの状況を踏まえ、従来からの「在校生特別奨学金事業」の実施に加えて、2009年度からは「入学検定料免除制度」の推薦者を担うこととなっておりますので、ぜひご活用いただきますとともに、関係する方々へのご周知をお願いするところであります。

今後とも、本会事業にご協力と参加を下さいます様お願いいたします。

2012年度の主な事業のお知らせ同期会・クラス会案内

◎ゆりのき祭　―　2012年9月30日(日)
- AM10:00からPM3:00まで
- 模擬店(ぜんざい)、同窓会活動紹介、交流
- 同窓生皆様のご参加をお待ちしております。
- 前日の準備のご協力も、お願い致します。

◎3団体合同講演会 ― 2012年5月26日(日)14:30

◎同窓会　幹事会　―2012年5月26日(日)
- AM11:00からお願い致します。

同　期　会　案　内

1978年度卒業　19回生　幹事　A小谷功 B松永浩C野村明美(井村) D赤座みゆき(村上)

開催日:平成24年3月10日(土)　場所:ANAクラウンプラザ
オリンピックの年が我が1978年度卒業生(19回生)の同窓会です。

同期会等開催費助成制度のご案内

1.申請者
本部に登録された各卒業年度の幹事は、会長宛に【同期会等助成申請書】を提出する。
なお、同期会・クラス会の開催にあっては宛名シール(同窓会名簿による)の発行を希望するときはその旨を申し出る。

2.助成金の交付
会長は、申請の事実を確認し幹事宛に各年度一回に限り,次の金額を交付する。
(1)同期会の開催にあっては、10,000円。
(2)クラス会及びサークルOB・OG会にあっては、3,000円。

3.その他
(1)申請は、当該年度に開催する同期会等を対象とする。
(2)同窓会本部は、申請者に対し【同窓会費の納入のお願い】文書を参加予定者分送付する。
なお、高校や学校法人が発行するパンフレット等を希望するときは提供することとする。
(3)助成金の交付を受けた幹事は、所定の報告書を提出する。
(4)参加者に対し同窓会本部が要請する「会員会費のお願い」を周知していただき、ぜひ当該年度分の納入を呼びかけていただくこと。(後日、氏名・金額を明記して送金・送付)
(5)本部役員に出席の要請があるときはその旨申し出てください。常任幹事で調整します。

同 窓 会 活 動 報 告

【2011年度事業活動報告】

1. 会務の運営強化
2. 委員会活動の強化推進
3. 会員会費制5ヵ年計画の推進
4. 会員·幹事等交流事業の実施
5. ホームページを中心とする広報活動の実施
6. 在校生との交流・支援事業の実施
7. 母校並びに関係支援団体との連携強化

ゆりのき祭へ同窓会10年連続参加

本年度も、同窓会の模擬店参加を行いました。
常任幹事さんをはじめ、同窓生の方たちの協力で、午後2時前には、450食分のつきたてのお餅の提供を終えることができました。
多くの、見学者のかたや、在校生とその父兄のかたにも食べていただきました。
また、ゆりのき祭の関係者のかた達にも、一息つける場の提供にもできたのではないかと思いました。
もう、恒例行事の企画になり楽しませていただいています。　来年は、屋外での杵つきもちを、したいと思います。
みなさんも、来年こそ見に来てください、お待ちしています。

交流企画委員会

ホームページのお知らせ

http://www.nfu-kokodosokai.net/

同 期 会 報 告

2001年度卒業　19回生　幹事名：安藤めぐみ、江ノ上敦士、岡西真理
大村悦子（旧幹事　A小谷功 B松永浩C野村明美（井村）D赤座みゆき（村上）

開 催 日：2010年2月27日　場所：ウエスティンナゴヤキャッスルホテル
コメント：第2回学年同窓会、69人の人が参加しました。次回、第3回は2015年に開催します！

同窓生の皆さん　会費（一人年1,000円）の納入にご協力ください

1.【会員会費増強5カ年計画】の策定について
本会の自立的運営基盤、とりわけ会報の安定的発行財源を確保するとともに、母校のサークル活動支援や特別奨学金制度の拡充をめざして、会則に定める会員の【年会費】制を具体化するため、2007年度を初年度とする5カ年計画を定める。

1　会費の額は、1人年1,000円とする。
2　会費の納入方法は、原則として郵便口座振り替えとする。但し、振り込み手数料は本会負担とする。なお、5カ年分の一括の納入を維奨する（口座番号00810-8-169025　加入者名　日本福祉大学付属高等学校同窓会）
3　この計画を推進するには、すべての常任幹事・幹事一人ひとりの同窓会活動への使命感なしには実現できないものである。
4　5ヵ年の会員会費増強計画の内容
（1）5年後の会員総数は13,000名と想定され、期間内にその10%（1,300名）の会員会費納入を目指すものとする。
（2）期間中の各年度において、会報やホームページ、あるいは、同期会等の開催時に広報・普及等図るものとする。
（3）各年度の目標と達成課題
1）2007年度（計画の初年度）は、300名とし、常任幹事一人当たり5名、幹事一人当たり2名の確保に努めるものとする。なお、2年次以降も同等の取り組みを強化していくこととする。
2）2008年度の（第2年次）は、母校創立50周年を記念して（大同窓会）を企画（300名規模を予定）し、実行委員を中心に参加者を含め600名を確保する。
3）第3年次から最終年次は、それぞれ800名、1,000名、1,300名を目標とする。
4）進捗状況等により3年毎に計画の見直しをする。
（4）この計画を担保するため、各年度、会員交流事業企画をするとともに、本年度から実施する、【同期会等開催助成事業】の普及に努めるとともに一層の強化を図っていくこととする。
（5）この計画の推進にあたり、高校、現職教職員及び退職恩師等広く関係者の理解と協力を要請する必要がある。

会計報告

【2010年度同窓会決算報告】

《収入の部》

項　目	2010年度予算額	2010年度決算額	備　考
前年度繰入金	1,823,850	1,823,850	
入会金収入	800,000	800,000	入会金（@5000×160名）
会費収入	1,000,000	0	
大同窓会会費	0		＊2008年度のみ
利息収入	500	401	銀行利息（普通預金のみ）
雑収入	0	148	前年度卒業生より
合　計	3,624,350	2,624,399	

《支出の部》

項　目	2010年度予算額	2010年度決算額	備　考
事務費	120,000	3,883	＊業務費
消耗品費	50,000	378	封筒代
印刷費	50,000	0	
通信費	10,000	2,480	宅急使、郵送料
アルバイター費	0		
雑費	10,000	1,025	残高証明書手数料
会議費	390,000	67,895	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
総会	0		実施予定なし
幹事会	120,000	33,143	1回
常任幹事会	120,000	34,752	5回
委員会	150,000	0	
事業費	1,030,000	591,272	＊各事業運営費
文化講演会	100,000	41,827	三団体合同文化講演会負担分
会報発行	0	0	印刷費、発送作業費、発送料
交流企画	100,000	76,575	ゆりのき祭企画
ホームページ運営	350,000	300,420	H22年度委託費
特別給付奨学金	100,000	100,000	H22年度積み立て
大同窓会運営費	0		＊2008年度単年事業
新会員記念品	80,000	72,450	卒業証書ファイル贈呈
同期会支援金	300,000	0	
備品費	80,000	7,641	パソコンリース料
予備費	2,004,350	0	仮払い（年度末精算）
支出合計	3,624,350	670,691	
次年度繰越金	0	1,953,708	
合　計	3,624,350	2,624,399	

【2011年度同窓会予算報告】

《収入の部》

項　目	2011年度予算額	備　考
前年度繰入金	1,953,708	
入会金収入	775,000	入会金（@5000×155名）＊第3期学費で納入
会費収入	100,000	会費（@1000×100名）
大同窓会会費	0	＊2008年度のみ
利息収入	500	銀行利息
雑収入	0	
合　計	2,829,208	

《支出の部》

項　目	2011年度予算額	備　考
事務費	100,000	＊業務費
消耗品費	30,000	
印刷費	50,000	
通信費	10,000	
アルバイター費	0	
雑費	10,000	残高証明書発行手数料など
会議費	250,000	＊会議運営費（通信費、会議費、交通費）
総会	0	実施予定なし
幹事会	60,000	@60000×1回
常任幹事会	90,000	@15000×6回
委員会	100,000	各委員会
事業費	1,377,500	＊各事業運営費
文化講演会	100,000	運営費負担分＋懇親会負担分
会報発行	500,000	＊発送先については別途検討
交流企画	100,000	ゆりのき祭、幹事間交流ほか
ホームページ運営	350,000	年間契約料、個別メンテナンス費
特別給付奨学金	100,000	積立金
大同窓会運営費	0	＊2008年度単年事業
新会員記念品	77,500	卒業証書ファイル寄贈（@500×155名）
同期会支援金	150,000	15件見込み
備品費	50,000	パソコンリース料
予備費	1,051,708	＊普通預金残高
支出合計	2,829,208	
次年度繰越金	0	
合　計	2,829,208	

● 恩師は今 ●

神谷　誠一　先生

昨年3月末、還暦を機に退職しました。生徒の皆さん・父母の皆さん・職場の皆さんに支えられて36年間教師生活を続けることができたと思います。ありがとうございました。現在は本校の生徒募集の仕事にかかわっており、週2回程度の割合で付属高校に出勤したり、中学校などを訪問したりしています。同窓生の皆さん、子どもさんをぜひ母校へ！

さて、退職後少しは社会貢献をしたいと思い、名古屋港水族館の解説ボランティア活動を行っています。解説活動のための研修が度々あり、毎回新しい発見があって学ぶことの楽しさを味わっています。またボランティアには多彩な方たちが参加されており、その方たちとの交流も新鮮で楽しいものです。

2年前に高血圧と診断されましたが、現在は規則正しい食事時間（特に夕食）と少し意識的な運動（自転車と山歩き）による減量で改善しつつあります。

東日本大震災・福島原発放射能問題など大変な世の中となっています。ますます「ふくしマインド」の大切さ、人と人との絆の大切さが注目されています。この学園でともに学んだことを生かしていきたいものです。

辻坂　英雄　先生

1973(昭和48)年4月～2010(平成22)年3月

こんにちは。同窓会会員の皆様にはご無沙汰をしています。当方足腰の不調もあり、定年より4年早く61歳で退職をし、相変わらず一宮市で生活しています。当初は「毎日が日曜日」でとまどいましたが、そんな生活にも慣れました。

現役時から地理を中心に授業を持っていましたので、海外旅行を趣味と実益をかねて繰り返してきましたが、今年は長年の計画であったユーラシア大陸を鉄道で横断する旅をしました。シベリア鉄道を完乗し、最後はサンクトペテルブルクまで行き、エルミタージュ美術館でたくさんの絵を楽しんできました。

同窓会の催し物の機会に、元気で皆さんにお会いできることを楽しみにしています。

同　窓　生　の　活　躍

結婚＼_(^_^)_／＼(*^^*)／おめでとっ！

《 小川　貴司さん(1997年度卒業)　純奈さん(旧姓/木村 2001年度卒業) 》

私たち二人は今年2011年7月18日、大切な人達に見守られ結婚式をあげることができました。

昨年末、結婚が決まり結婚式の情報収集をしている時に、写真館で記念写真を撮るのではなく、自分たちの好きな場所まで出張してプロのヘアメイクでプロのカメラマンに写真を撮ってアルバムを作っていただけるロケーション撮影というものに出会い、撮影することにしました。結婚式を迎える前に二人で何か記念になる思い出が欲しかった私たちは二人の共通の大好きな場所『日福高校』を選び、学校にお願いをして、撮影させていただきました。

私たち二人の年の差が4つあることもあり、同じ時を高校で過ごすことがなく、共有する想い出がありません。

このアルバムはそんな私たちに忘れる事のない大切な宝物を残してくれました。形として残るアルバム以外にも、私たち二人にとって撮影させていただいた時間は生涯忘れる事のできない特別な時間になりました。

このような機会を与えて下さったのも、日福ならではだとおもいますが、この高校の卒業生で本当によかった！！

今回ご協力くださった先生方、ならびに学校関係者の皆様、部活中にお邪魔させていただいた在校生の皆さまには感謝の気持ちでいっぱいです。

本当にありがとうございました。

若者の育成を支援する若者の同窓生

江ノ上　敦士さん　(2001年度卒業)

私は、目標を持ってチャレンジし続けることのできる若者の育成をするという理念のＮＰＯ法人エンド・ゴールを立ち上げ、現在では副代表を務めております。

主な事業は、厚生労働省の委託事業である「ちた地域若者サポートステーション」(15～39才くらいまで就職相談窓口)や、多くの大学・高校・中学校でのキャリア教育、次世代リーダーの育成をする勉強会などを行なっております。

また、知多地域の産業活性で地元雇用を創造するという目的で「知多娘。」というご当地ＰＲキャラクターを作り、おかげさまで全国のマスコミ等でとても話題になっております。

私が団体を立ち上げたきっかけは2点あります。まず1点目は、イキイキワクワク楽しそうに働いている人が少ないということです。大学3年生の就職活動中に出勤電車内を見渡すと「朝から疲れている人ばかりだ」という感想を持ちました。

2点目は、日本の交通死亡事故が年間6千人程度の世の中で、なぜ自殺者が年間3万人以上なのか？という疑問です。小さい子がお父さんに「いってらっしゃい。気をつけてね」と言うよりも、その5倍、6倍も「いってらっしゃい。自殺しないでね」と言う方が効果的です。

以上の2点を考えると、働く目的や目標を持たずに生きている人が多いのではないか、何のために自分は働くのか(＝何のために生きているのか)をもっと追究し、働く意義や意味を自身が見出すことで生きがいや働きがいを得たらもっと世の中は良くなるのではないか、という結論になりました。

生きがいを感じるためには、まずは自分の長所を知り、長所を伸ばし個性を発揮することです。長所を知ったら、自分のメカニズムを知る(脳科学、行動科学、心理学など)ことで自身をコントロールできる能力を付けます。さらに私たちは、目標を持ってチャレンジし続けることの出来るように様々な情報提供や教育事業を行なっております。

今後も今までの取り組み以上に、より多くの若者のお役に立てるように積極的な活動を続けてまいりますので、是非とも同窓生の皆様もご支援のほどよろしくお願い致します。

江ノ上　敦士さん　(2001年度卒業)

※就職相談(無料)のお問い合わせ：0569-47-55387
ちた地域若者サポートステーション
(厚生労働省委託事業)就職相談予約係

子供を母校に入学させて

山崎　宏文さん（1984年度卒業）　（旧姓：中川）直美さん（1984年度卒業）

高校への進路は、卒業後の人生に大きな影響を与えると言っても過言ではありません。

昨年、私たち夫婦にも、子供の進路を決める時がきましたが、心配や悩みはありませんでした。

私たち夫婦は、日本福祉大学付属高等学校の卒業生です。娘を母校に入学させたいという気持ちは、以前からありました。それは、私たちが過ごしたような有意義な高校生活を、送ってほしいからです。

私たちは付属高校で、勉強だけでなく、様々な活動を通じ多くの事を学びました。幸いにも、私たちが卒業する時に担任だった先生も在職中で、体験入学の時に現在の高校の様子を聴かせて頂きました。そして、先生方のおかげで、今でもそれが残っていると感じました。

また、娘は和太鼓の演奏を観て感動し、この高校に入学し【楽鼓】に入部したいと思ったようです。

娘は、和太鼓部と勉強を頑張っています。毎日、楽しそうに通学している姿を見ると、付属高校に入学が出来て良かったと思っています。

高 校 の 近 況 報 告

校長挨拶

校長　平野征人

会員の皆様

お元気にご活躍のことと存じます。日頃は母校付属高校に様々なご援助ご支援をいただき、大変ありがとうございます。紙面をお借りして心よりの感謝を申し上げます。

さてやはりあの大震災のことからお話を始めなくてはなりません。目を疑うような惨状が報道される中で、生徒会執行部を中心にして生徒たちが半田駅前の街頭募金に立ったのは、震災発生から4日後でした。その後学園全体では震災ボランティアセンターが立ちあげられ、幾度か、したがってここまで多くの生徒・学生・教職員が現地に足を運び、今に継続する活動となっています。生徒たちはまた、ゆりのき祭冒頭で震災セレモニーを企画し、「私たちにまずできることはあの大震災を忘れないこと」と述べました。私は、生徒たちのこうした姿にこの社会の未来を感じています。

次にご報告しておかなくてはならないのは、学園の新キャンパス構想についてです。すでに報道されているとおり、日本福祉大学は、2015年(平成27年)に太田川駅西側近接地域に看護学部を開設する予定です。地元の支援を受けながら、"ふくしの総合大学"としての拡充が進みます。学園にとっては、美浜・半田・名古屋に続く4つ目のキャンパスです。計画通りに進行すれば現在の中学3年生が第1期生となります。すでに高校にも中学校や保護者の方からいくつか問い合わせが来ています。大学とともに地域に根差す学園としての成長を図っていきたいと思っています。

最後に学校の様子をお知らせしておきたいと思います。付属高校には、以前に変わらず、明るく、屈託なく、素直な高校生が集っています。彼らは部活面でも進路面でも讃えてあげてよい成果を挙げています。全校生徒の前で紹介する表彰状の数と種類は1～2年前と比べて飛躍的に増えました。

また本校から福祉大学へと学び、教員になる卒業生がここ数年増えてきています。数年前から名古屋市や愛知県の特別支援教育の教員として何人かが教壇に立ってきましたが、今年は4月から中学社会と高校英語の教員として教壇に立つ本校同窓生が3人誕生しました。私たち教員にとって教え子の中から後継者が育つというのは、本当にうれしいニュースで、また後輩の現役生にも大きな励みになる情報です。

日本社会は少子高齢化が進み、私学は生徒減少期の大波に洗われます。付属高校は地域に信頼される学校づくりを進めることで、この大波に立ち向かい、学校の存続と発展を図りたいと考えています。今後とも母校に思いをお寄せいただき、助言や激励そして支援をいただきますようお願い申し上げ、会員の皆様のご活躍をお祈りしてご挨拶といたします。

在 職 教 職 員 紹 介

【2011年度教員名簿】

氏　名	教　科
平野　征人	校　長
岩本　憲之	教　頭
青木　律子	英　語
浅生　京子	英　語
石﨑　摂	国　語
伊藤　克之	国　語
今田　和弘	地　公
岩橋　由美子	養　護
大石　治	英　語
大﨑　清志	地　公
岡部　道宣	数　学
尾之内こすも	国　語
加賀　敏美	数　学
神谷　貴史	保　体
河合　理恵子	理　科
君塚　麿	村　橋
近藤　美穂子	地　公
榊原　智穂	英　語
重藤　信夫	英　語
鈴木　脩平	理　科

氏　名	教　科
清木　敦史	理　科
竹内　智司	保　体
武智　静香	保　体
田中　理恵	英　語
土屋　貴則	数　学
東海　英子	国　語
冨本　慶子	国　語
長谷川　友紀	英　語
半田　裕嗣	数　学
日高　幸浩	数　学
松永　太志	地　公
松久　直史	地　公
宮東　靖浩	理　科
宮本　純	理　科
向井　直紀	地　公
村橋　俊介	保　体
森　あゆみ	国　語
山口　喜久枝	国　語
山田　育世	情　報

【2011年度職員名簿】

氏　名	教　科
君田　竜一	事務長
迫田　真希	人事･教務
金海　和江	事　務
山元　洋子	事　務
相浦　香代子	図書(司書)

2009,2010年度をもって8名の先生が退職されました

氏　名	教　科
加藤　伸治	保　体
神谷　誠一	理　科
篠原　有加	英　語
祖父江　奈都	保　体
辻坂　英雄	地　公
畑中　千佳	国　語
原田　結衣	地　公

学 校 の 様 子

教頭　岩本憲之

同窓生の皆様、ご無沙汰しております。お元気でお過ごしのことと思います。
皆様ご存知の通り、本校は1958(昭和33)年名古屋市昭和区で産声を上げ、その後、天白区で９年間の仮移転を経て、1982(昭和57年)知多のこの地に、大学に１年先駆けて移転しました。以来早くも30年が過ぎました。従って名古屋時代よりも知多の時代のほうが長くなり、本校の歴史の半分以上がこの知多の地で作られたことになります。名古屋時代を体験された同窓生の皆様には、遠方でなじみが薄くなったように思われるかもしれません。あのプレハブ校舎を経験した教職員も数人になりました。しかし伝統や精神は今に脈々と息づいていると言えます。創立者鈴木修学先生の「我が如く等しくして異なること無からしめんと欲す」の精神は、年月を経た今も、「万人の福祉のために真実と慈愛と献身を」という標語の下、学園全体に息づいています。

それは3・11東日本大震災に対するとりくみにも表れています。生徒会では震災直後からいち早く全校生徒に呼び掛け、募金運動を開始しました。校内だけでなく知多半田の駅頭に立ち、募金を訴えました。また学校内外の諸団体の呼び掛けに応じ、多くの生徒が休日や夏休みを利用して数回にわたるボランティア活動に参加したり、昨年の文化祭(ゆりのき祭)では５クラスが震災関連の展示を発表しました。「立花」時代の生徒会活動の伝統は現在でも確実に引き継がれています。例えば入学式や卒業式を在校生全員が参加して、合唱や構成詩で祝うわが校の「名物」も、今に引き継ぎさらに発展しています。是非一度見に来てください。

さて、学校の様子をもう少し紹介しましょう。今、学校では「どの子も伸ばす」というモットーを掲げて、様々な教育活動を繰り広げています。具体的には、将来の進路実現のために２年次から３コース制(文理・福祉社会・国際英語)に分かれ、コースの特色を生かしたカリキュラムを編成しています。昨年度は名古屋大学など難関の大学にも合格者を出すことができました。また大学と同一キャンパスならではのとりくみも数多くあります。例えば「福祉社会研究」(３年福祉社会コース)という科目では、福祉大学の５つの学部の先生方の講義をほぼ１年にわたって受講することができます。大学の先生の講義は、高校では学ぶことのできない内容ばかりでとても興味深いものです。それればかりではなく将来の学部選択の大きなヒントにもなっています。他にも「はじめてのふくし」(1年)、「地域研究」(２年福祉社会コース)などでも大学の先生だけでなく、大学生の力も借りて多様に取り組まれています。

部活動でも頑張っています。和太鼓部は創部23年を迎え、全国大会20年連続出場を誇ります。今年度も全国大会(盛岡)に出場し優良賞(第３位)を獲得し、帰路、被災地(石巻)で激励演奏を行いました。運動部では空手はインターハイ、陸上・卓球で東海大会に進出しました。野球部は昨年ベスト16の明和高校に勝利するなど活躍しました。他にもそれぞれの部活動が頑張っています。

ここ１，２年の特徴として挙げられることは、この知多の地で卒業された同窓生の子どもさんが本校に入学されたことです。今年度は約10名近くになりました。ある同窓生は、「自分が高校生の時に味わった高校生活を子どもに送ってもらいたいから」と語ってくださいました。来年度から同窓生の子どもさんには、入学金を半額給付する制度を発足させます。どうか制度を活用いただき、多くの同窓生の子どもさんに入学していただきたいと願っています。今後の同窓生の皆さんの益々のご健勝とご活躍をお祈りします。

2011年度常任幹事会役員名簿

会　　長	丹　羽　典　彦	１９６０年度卒業
副 会 長	小　塚　光　夫	１９６８年度卒業
	池　田　修　三	１９６２年度卒業
会　　計	西　村　容　子	１９７８年度卒業
	迫　田　真　希	事務職員
常 任 幹 事	福　岡　正　之	１９７１年度卒業
	富　岡　隆　治	１９８３年度卒業
	吉　村　和　幸	１９８４年度卒業
	古　川　裕　資	１９８４年度卒業
	新　美　滋　啓	１９８７年度卒業
	尾之内　こすも	２０００年度卒業
	江ノ上　敦士	２００１年度卒業
	北　浦　　稔	２００５年度卒業
	塚　田　康　人	２００５年度卒業
監　　事	堀　場　純　矢	１９９３年度卒業
	小　林　純　穂	１９８７年度卒業
顧　　問	岩　本　憲　之	教頭
	君　田　竜　一	事務長

役員(常任幹事)紹介

＊役員　(　)世話人

回生	卒業年度(和暦)	卒業年度(西暦)	1	2	3	4	5
1	昭和35	1960	(佐藤　友彦)	＊丹羽　典彦			
2	36	1961	桜井　敏寿				
3	37	1962	＊池田　修三				
4	38	1963	(山東　克彦)				
5	39	1964	吉田　孝仁	水野　義広	水野　孝安		
6	40	1965	武田　晃代				
7	41	1966					
8	42	1967					
9	43	1968	大久利　一男	＊小塚　光夫			
10	44	1969					
11	45	1970					
12	46	1971	河本　昇	＊福岡　正之			
13	47	1972					
14	48	1973	山田　順子	青山　伸吉			
15	49	1974	水野　英子	古澤　美代子			
16	50	1975					
17	51	1976	平瀬　哲則				
18	52	1977	中村　勝彦	鬼頭　和則	青山　智弘	高木　真澄	
19	53	1978	＊西村　容子	桂　佳男			
20	54	1979	高垣　充				
21	55	1980	筧　重和	菊地　淳子			
22	56	1981	岡本　吉治				
23	57	1982	川瀬　克幸	(渡辺　美雪)			
24	58	1983	福井　政浩	榊原　京子	樋口　吉已	＊富岡　隆治	
25	59	1984	＊古川　裕資	大井　智穂子	＊吉村　和幸		
26	60	1985	福地　充洋	沢田広一			
27	61	1986	松田　洋幸				
28	62	1987	＊小林　純穂	＊新美　滋啓			
29	63	1988	渡邊　真理子				
30	平成元	1989	仲野　智	久田　里子			
31	2	1990	瀬尾　隆之	中野　ゆか			
32	3	1991	木俣　聖佳				
33	4	1992	冨田　達郎	竹川　寅之			
34	5	1993	岩田　佳奈子	西　将志	藤原　聡子	＊堀場　純矢	
35	6	1994	白井　雅樹	(榎戸　幸子)			
36	7	1995	佐藤　かおり	鶴長　泰輔			
37	8	1996	布目　達彦				
38	9	1997	尾之内　童	白石　優理	長谷川　純子	宮川　鮎美	寺澤　由紀
39	10	1998	河内　美和				
40	11	1999	吉口　史晃				
41	12	2000	鵜飼　健史	御手洗　旭	＊尾之内こすも		
42	13	2001	＊江ノ上敦士	武田　恵子	永田　美子		
43	14	2002	大久利　勇輝	山﨑　由香里	佐々木　諒真	榎本　千香	
			長坂　創太	久野　達也	堀田　瑞樹	深谷　愛美	
44	15	2003	有馬　將太	今井　佐栄	田島　由佳子	山下　さなえ	野々垣　聡子
			鈴木　警史	小野　七絵	内田　愛	宮澤　枝里	根崎　芳行
			小牧　直哉	小山　奈未	深谷　典子		
45	16	2004	清水　大介	村上　辰之	山下　雄規	中平　猛	
46	17	2005	＊北浦　稔	＊塚田　康人	水谷　佳那子	菊地　宏晃	渡辺　拓也
			舟橋　佑希				
47	18	2006	生田　卓也	竹内　甫	大河内　恵	小島　祐助	浜野　由莉
48	19	2007	鶴見　匠	眞鍋　智奈実			
49	20	2008	沖田　昌紀	椎葉　梢			
50	21	2009	竹内　航太	小田　ひとみ			
51	22	2010	青山　聖恵	長屋　亜矢			

☆★編集後記★☆

皆様の、ご協力により第15号会報をお届けすることができました。
今回の会報には、うれしい記事が、幾つか載っています。
小川貴司さん、純奈さんのご結婚、山崎宏文さんのお子様の入学
周囲環境の厳しい世の中だからこそ、うれしい記事は、嬉しいものです。
また頑張って会報をお届けしたいと思います。最後に、編集にご協力下さいました方々に
感謝いたします。ありがとございました。

記事担当：会報担当者

日本福祉大学附属高等学校
同窓会

〒470-3233　愛知県知多郡美浜町奥田字中之谷2-1
TEL(0569)87-2311　FAX(0569)87-2312
http://www.dosokai.ne.jp/tachibana/